

電気通信大学 平成21年度シラバス

授業科目名	機構要素設計		
英文授業科目名	Machine Mechanism Design		
開講年度	2009年度	開講年次	3年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	専門科目-学科専門科目-選択必修科目		
開講学科・専攻	知能機械工学科		
担当教官名	越智 保雄		
居室	東4-424		

公開E-Mail	授業関連Webページ
ochi@mce.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
各種機械部品の構造、使用目的、動作、特徴および強度設計法を学ぶとともに、機械要素の設計が可能となる素質およびセンスを養うことを目的とする。

【前もって履修しておくべき科目】
力学、材料力学

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
機械力学

【教科書等】
<p>使用しない。</p> <p>授業中に適宜プリントを配付する。</p> <p>参考書：吉澤武夫著「大学演習 機構要素設計」(裳華房)、小内美男著「基礎 機械設計」(工学図書出版)、瀬口靖幸、他著「機械設計工学 1」(培風館)など</p>

【授業内容とその進め方】
<p>授業の内容は各種機械要素の設計について、以下の内容を講義します。</p> <p>1. 機械設計の基礎 2. ねじ(ボルト、ナット)の設計 3. 溶接法と溶接継ぎ手の設計 4. 軸の設計 5. 軸継手の設計 6. 歯車の設計 7. 軸受の設計</p> <p>講義に関しては適宜演習を実施します。必ず理解できるように復習を行ってください。また、次週の講義</p>

電気通信大学 平成21年度シラバス

に関しては予め内容を伝えますので、参考図書等で予習を行ってきてください。

【授業時間外の学習（予習・復習等）】

毎回の授業内容については良く理解できなかった点は復習をすること。また、参考書等を参考にして次週の講義内容について前もって予習をすること。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

原則として成績は中間試験、期末試験および出席で評価しますので、毎回必ず出席を取ります。出席は2 / 3以上が必要です。
最適評価基準は基本的な各種機械要素および機構の名称、使用法、使用上の注意および特徴が理解できていることです。

【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じるが、メール等で事前にアポイントを取ること。

【学生へのメッセージ】

各種機械・機構の要素設計に直接関係した実務的内容ですが、受講生には初めて接する内容も多いと思われるので、出席無しには理解することは困難と思われます。毎回必ず出席するように心がけてください。

【その他】

特になし。